

JPW315M

JPW515M

このたびは日立誘導灯吊具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

お客様へ

- この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ

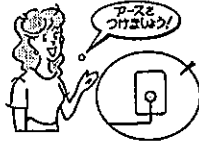
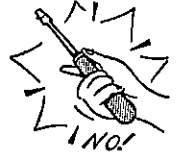
- 工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ

施工上のご注意

 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		
● 吊具の取り付けは、質量に耐える所に取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。  よく読んでね！ 取扱説明書  取り付け	● アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。  アースを付けよう！  アース工事	● 吊具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。  NO!  改造
● 電源線の接続は念入りに絶縁処理をしてください。絶縁テープは自己融着性のものをおすすめします。  電源接続	● この吊具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。 ● この吊具は、海岸に近い塩害地区には使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。 ● この吊具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま施工されますと、落下の原因となります。 ● この吊具は、屋内専用ですので、風が吹く場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。  使用環境	
● 吊下荷重(照明器具重量)は、本体表示、取扱説明書に従い、制限荷重以下でご使用ください。荷重超過の場合、器具落下などの原因となります。  荷重超過禁止		

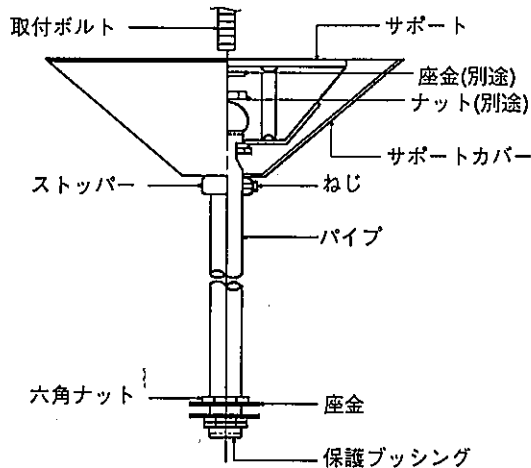
お客様へ

使用上のご注意

 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
● ランプ交換や吊具のお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。  電源を切って

 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
● 吊具を洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。吊具の破損、落下、感電の原因となります。  薬品類 	● 吊具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。  ランプ 器具清掃	● 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。  金属 部分 
● この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。)		

■各部のなまえ



吊具質量	
JPW315M	0.5Kg
JPW515M	0.6Kg

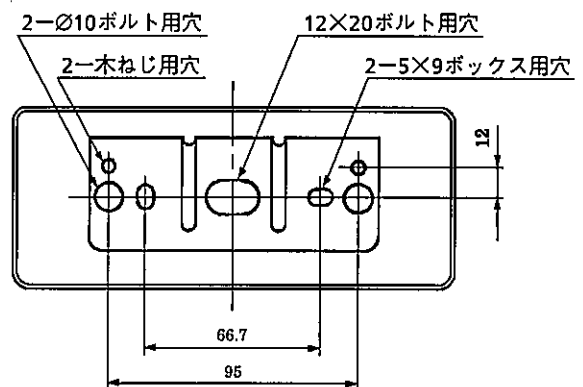
許容質量 10Kg/1本

■吊具の取り付けかた

1 本体の取り付け方法

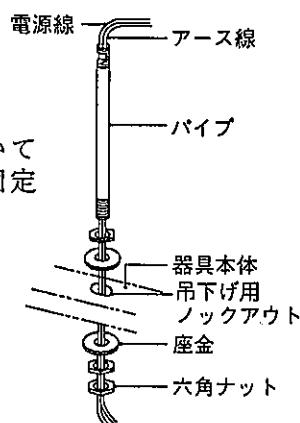
(単位mm)

- ① 本体を、ボルト用穴または木ねじ用穴を利用して天井に固定してください。(取付用穴位置参照)
(取付ボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)
(木ねじは丸木ねじの呼び4.1を使用してください。)
- ② アウトレットボックスに取り付ける場合は、ボックス用穴を利用してください。
- ③ 電源線はサポートとサポートカバーのすきまより引き込んでください。



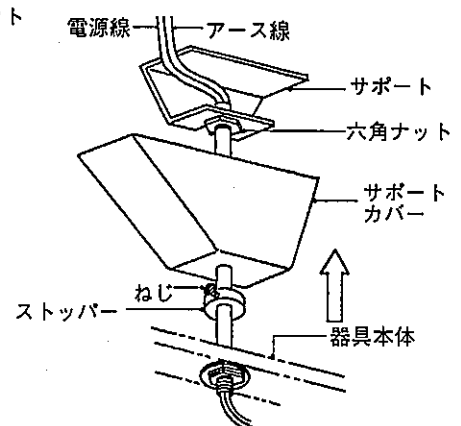
2 パイプと器具本体の固定方法

- ① パイプに電源線とアース線を通してください。
- ② 器具本体の吊下げ用ノックアウトを打ち抜いてパイプを通し、六角ナットと座金で確実に固定してください。



3 本体への固定方法

- ① パイプにストッパー、本体カバーの順に通し、最後に六角ナットをねじ込んでください。
- ② パイプを持って器具を持ちあげ本体に引っ掛け、六角ナットで固定してください。
- ③ 天井側電源線を結線してください。
- ④ 本体カバーが天井に密着するまで押し上げてから、ストッパーのねじで本体カバーを固定してください。



アフターサービス・・・ ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を確認のうえ修理を依頼してください。